

企画展 東海の名刹

# 臨濟寺

～義元、家康ゆかりの禅寺～

2023 7.22(土) ▶ 9.3(日)

静岡市歴史博物館 3階企画展示室

今川義元が開き、少年時代の家康が学んだとされる名刹・臨濟寺。修行道場として普段は立ち入ることのできない禅寺の実像を、歴史の中で守った伝統、そして今川家、徳川家との深いつながりから解き明かします。

▲臨濟寺本堂 重要文化財

太原崇孚(雪斎)木像▶



▲東照大権現像

東海初禅の徳

▲本堂扁額「勅東海最初禅林」

開館時間 — 9時～18時(展示室への入場は閉館30分前まで)

休館日 — 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日休館)

観覧料 — [一般]750円

[高校生・大学生・静岡市内70歳以上]520円

[小中学生]180円

※基本展示もあわせてご覧いただけます。

※20名以上は団体料金あり。

※身体障害者手帳等の提示により、本人及びその付添者1名無料。

※「一般」以外の方は身分証明書等をご提示ください。

※未就学児、静岡市内在住・通学の小中学生は無料。



企画展 東海の名刹

# 臨濟寺

～義元、家康ゆかりの禅寺～

大龍山臨濟寺は後奈良天皇の勅願所として「勅東海最初禅林」の扁額を掲げる名刹です。臨濟寺は、今川義元が兄氏輝の菩提を弔うために創建。義元とその師であった太原崇孚（雪斎）、また徳川家康や江戸幕府とも深いかかわりを持ちました。本展ではこうした臨濟寺の由緒と歴史、地域とのつながりを示す最新の研究成果を紹介します。

## 義元、今川家 と臨濟寺

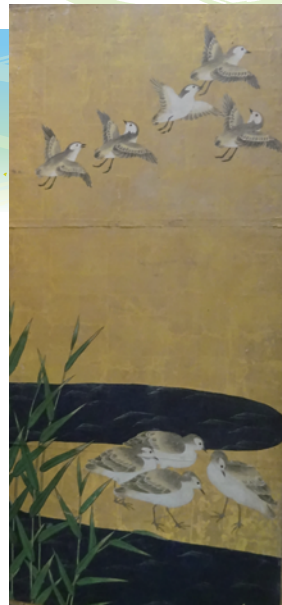
臨濟寺は桶狭間で討死した今川義元の葬儀をおこない、江戸時代を通じて供養を続けました。



天沢寺殿乗炬  
(今川義元の葬儀記録)

## 家康、徳川家 と臨濟寺

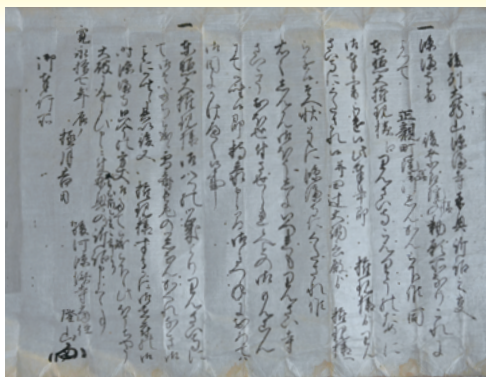
家康は戦乱で焼け落ちた臨濟寺を再興しました。また、住職が江戸へ拝礼に向向き、歴代将軍の供養をおこなうなど、徳川家と深いつながりを持っていました。



徳川家康寄進 千鳥図屏風(部分)  
県指定文化財

## 臨濟寺、堂舎を再建する

臨濟寺は老朽化した建物を復旧するため、度々幕府へ支援を求めました。その際の有力な根拠として強調されたのが、今川家、徳川家との深いつながりでした。



駿州大龍山臨濟寺再興訴訟之事

## 臨濟寺と末寺、地域のかかわり

臨濟寺は臨濟宗妙心寺派の寺院で、本山は京都の妙心寺です。本山と臨濟寺、駿河国中にあった末寺との関係から、江戸時代の寺院のネットワークを知ることができます。また、江戸時代の文書からは、臨濟寺と村々や駿府の人びとのかかわりがわかります。



臨濟寺絵図

関連トーク

## わかりやすい歴史・地域のおはなし

- 7月22日(土) 臨濟寺と雪斎 13:30~14:30
- 7月29日(土) 臨濟寺展のみどころ
- 8月19日(土) 臨濟寺と義元・家康
- 9月 2日(土) 今川家臣、かく戦えり
- 9月 3日(日) 文書から見る江戸時代、明治時代の臨濟寺

関連イベント

## 講演会「今川家、徳川家と臨濟寺」

- 日時 8月11日(金・祝) 13:30~16:00 **参加無料**
- 講師 松本 和明氏(静岡大学人文社会科学部)  
森山 郁真氏(静岡市観光交流文化局文化財課)
- 内容 静岡大学と静岡市による共同調査を通じて明らかになった、臨濟寺のなりたちや今川家、徳川家との関係、地域とのつながりなど、最新の研究成果を紹介します。
- 会場 静岡市民文化会館 3階 大会議室
- 定員 150名[申込順]
- 申込 7月8日(土) 13:00より  
当館ホームページの申込フォームから受付



静岡市歴史博物館

### 【アクセス】

JR静岡駅北口より、駿府浪漫バス(10番乗り場)で「東御門」下車すぐ、タクシーで約10分。  
静岡鉄道「新静岡駅」から徒歩8分。  
しずてつジャストラインバス「県庁・静岡市役所葵区役所前」下車徒歩6分。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、イベント情報などが変更になる場合があります。

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団  
住所:静岡市葵区追手町4番16号  
電話:054-204-1005 FAX:054-204-7373  
ホームページ:https://scmh.jp  
専用駐車場はありません。  
(※歩行困難の方のゆずりあい駐車場(要予約)はございます)

